

利用者乗降調査報告 (H27/9/1~10/30 実施)

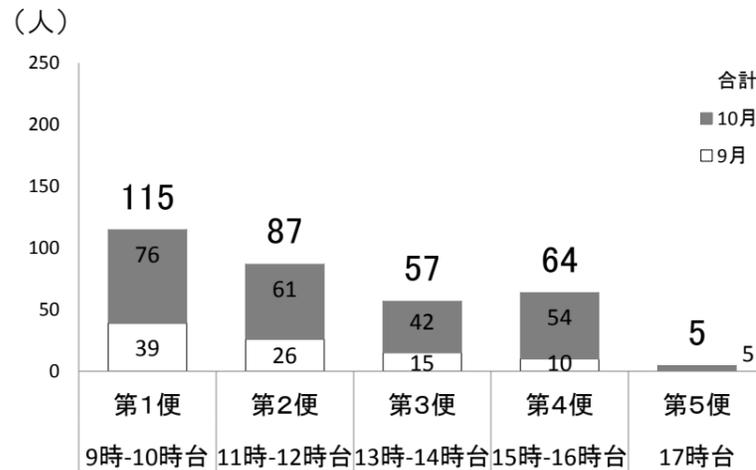
平成 27 年 9 月から 10 月にかけて乗用車 2 台による新地域公共交通実証運行を実施し、利用者の皆さまに乗車の際に御協力をお願いした「利用乗降調査」を集計した結果については以下のとおりです。

① 利用者数

実証運行の利用者数は、9 月が 90 名、10 月が 238 名の合わせて 328 名でした。また、実証運行期間中の 1 日あたりの平均利用者数は 8.2 名でした。

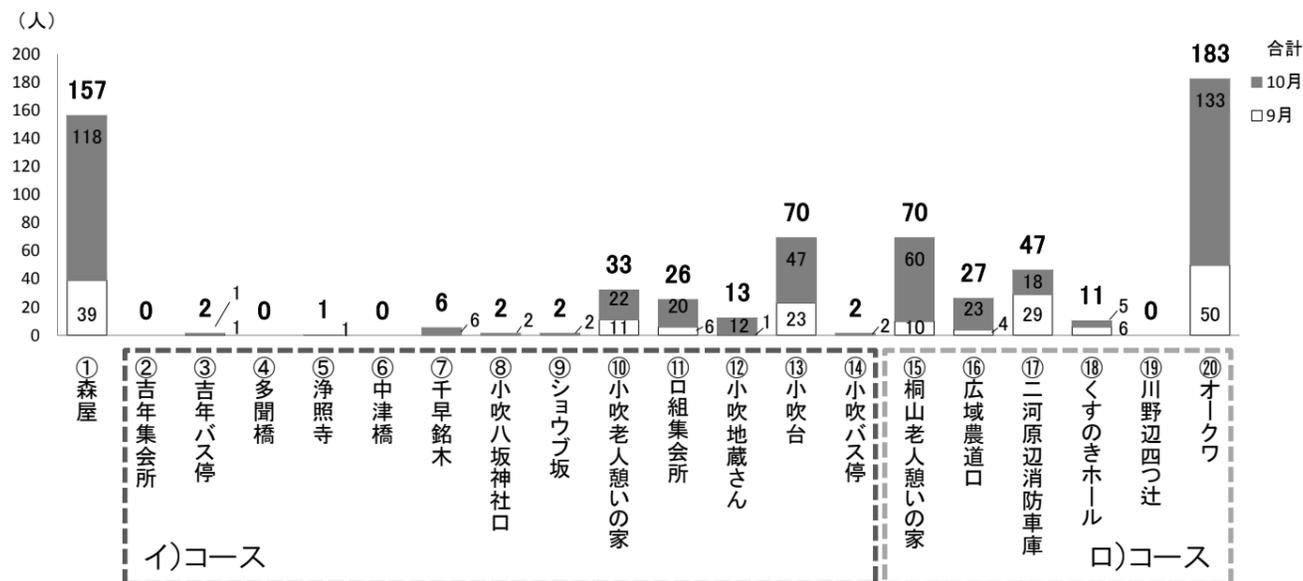
② 利用時間帯

利用時間帯は、実証運行中を通して第 1 便の利用が最も多く、115 名の利用がありました。一方、最も利用が少なかったのは第 5 便で、5 名の利用に留まっています。



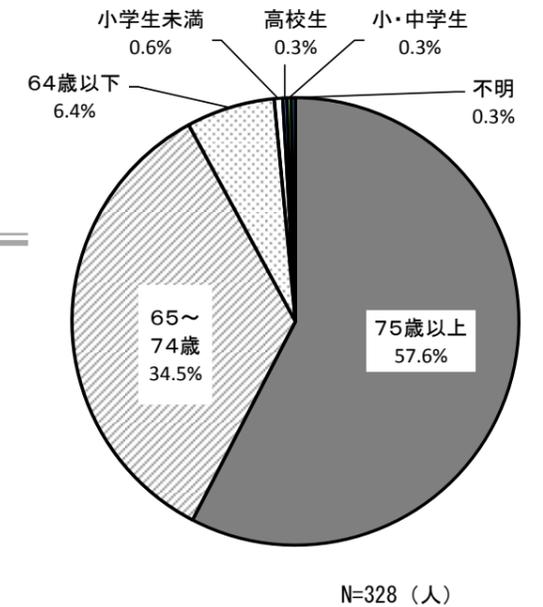
③ 利用停留所

利用停留所は、オークワの利用が最も多く、183 名の利用がありました。コース別に利用者を見ると、ロ) コースでは川野辺四つ辻以外の全ての停留所で利用がありましたが、イ) コースでは小吹地区、小吹台周辺で利用が見られるものの、交通空白地域となっている中津原地区周辺ではあまり利用されませんでした。



④ 利用者の年齢

利用者の年齢は、75 歳以上が約 58%、65~74 歳が約 35%を占めており、65 歳以上の高齢者の方の利用が約 93%を占める結果となりました。



⑤ 利用目的

利用目的は、オークワに停留所を設置したことから買い物利用が多く、67%を占めています。

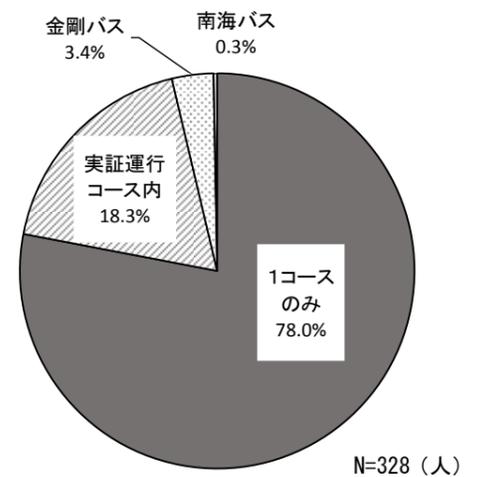
また、通勤・通学・習い事を合わせると約 2%となりました。

一方、くすのきホールや老人憩いの家、集会所等に停留所を設けましたが、役場や診療所に停留所を設けなかったこともあり、公共施設利用は約 8%、通院利用は 9%未満という結果になりました。

⑥ 乗り継ぎ利用

コース間及び路線バスへの乗り継ぎ利用は 72 名あり、全利用者の約 22%でした。このことから 1 コースのみの利用が約 78%と大半を占めていたことがわかります。

一方、路線バスとの乗り継ぎ利用は、金剛バス、南海バスを合わせて約 4%に留まりました。



● まとめ ●

- 高齢者の方の日常の買い物利用が多く、第 1 便から第 4 便の利用がほとんどでした。
- 交通空白地域となっている桐山・二河原辺地区の利用はあったものの、中津原地区周辺では、あまり利用されませんでした。
- 乗り継ぎ利用の割合は約 2 割と少なく、ほとんどが 1 コースのみ利用でした。